

新メニュー[砂防基盤地図]-[]を追加しました。  
以下は、操作説明書からの抜粋です。

### 図郭に分割配置

図郭にまたがる DM データについて、図郭線で切断し、各図郭に割り当てます。編集段階では調査地域毎にそれぞれのファイルを図郭に関係なく作っておき、編集が終わった後、図郭別に分割と統合を行うための機能です。

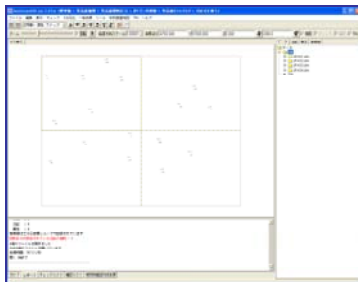
#### 【必要な DM ファイル】

この処理では 2 種類の DM ファイルが必要です。

##### (a) 図郭 DM

図郭がきちんと設定されている DM ファイルです。このファイルに要素を追加します。既に注記などの要素を含んでいてもかまいません。

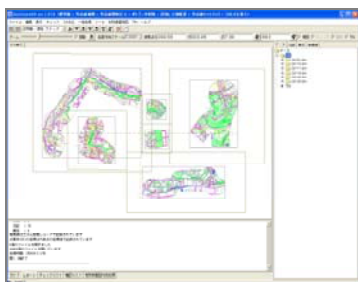
ファイル名はアルファベットから始まるものとします。



##### (b) 参照 DM

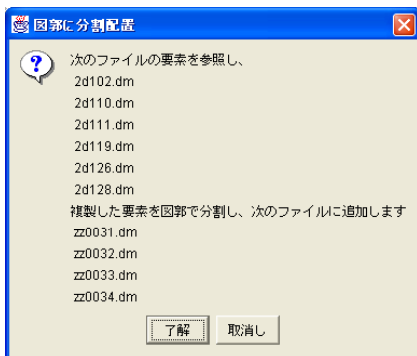
要素を参照する DM ファイルです。この DM ファイルに含まれる要素を複製し、図郭 DM に追加します。複数の図郭と重なる線要素は、図郭線で分割します。この参照 DM 自体に変更はありません。

ファイル名はアルファベット以外(数字など)から始まるものとします。

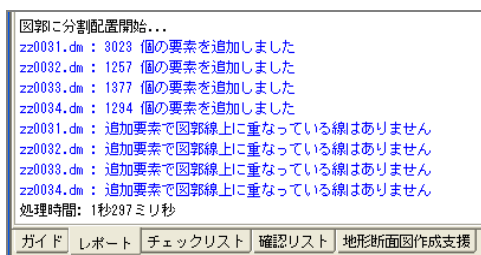


#### 【実行】

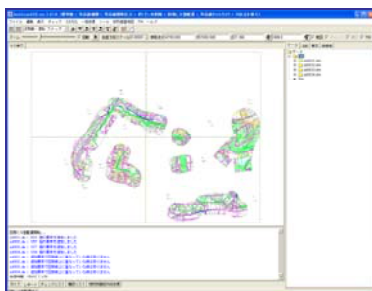
[砂防基盤地図]-[図郭に分割配置]メニューを選択します。図郭 DM と参照 DM を確認するダイアログを表示します。



[了解]で処理を実行します。それぞれの図郭 DM に追加した要素数をレポートします。



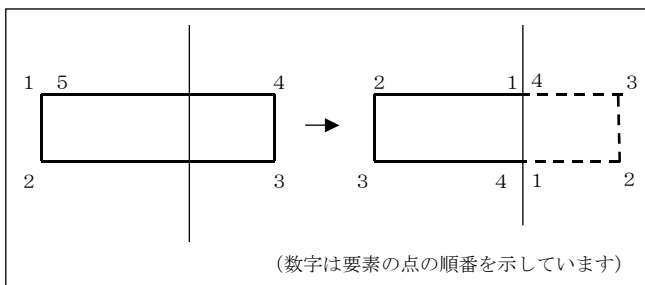
もし、面・線要素の線分が図郭線と重なる場合、隣接する図郭に重複して追加します。この場合、[チェックリスト]に位置をリストアップします。重複しているどちらかの線分を削除してください。



この操作は大量の要素を処理するので、取り消しができません。編集の途中の場合は、一旦ファイルを保存してから実行してください。一度だけ実行して下さい。複数回繰り返すと、要素が重複してしまいます。

### 【閉じた面・線要素】

建物など閉じた図形が図郭線で分割される場合、レコードタイプはそのままとし、それぞれ1本の線になるようにします。



もともと複数の要素で構成されている場合、この処理で接続することはありません。[チェック]-[ネットワークチェック]で建物などを選択し、[同一XYZの端点で接続する]で、1本の要素にまとめることができます。